

令和4年度第2回山口県労働審議会の概要について

1 開催日時

令和5年2月16日（木）15:00～16:30

2 開催場所

県庁共用第2会議室

3 出席者

伊藤委員、海井委員、倉重委員、中繁委員、阿野委員、多賀委員、多々良委員、古谷委員、内田委員、田中委員、鍋山委員、松岡委員（15名中12名出席）

4 議事

(1) 令和5年度当初予算案（商工労働部関係）について

(2) 商工労働分野における新たな分野別計画の策定について

「やまぐち産業労働プラン（最終案）」について、事務局から、次のとおり素案からの主な変更点を説明し、審議を行った。

- ・ 県の組織再編案を踏まえた計画名称の変更、取組の記載の拡充
 - ・ 前回の審議会での意見を踏まえた表現の見直し、参考資料の追加
 - ・ パブリック・コメントの意見を踏まえた数値目標の上方修正、表現の見直し
- 審議の結果、最終案は審議会として了承することとなった。

(3) その他

【委員からの主な意見】

議事（1）について

- ・ 県の取組が労働者や企業に届くようしっかり広報にも取り組んでほしい
- ・ 教育や人材育成に関する事業について、事業目的や、企業や労働者等にとってのメリットを明確にした上で広報をしていく必要がある

議事（2）について

- ・ これまでの商工業の計画と労働の計画を統合し、施策も一体的に推進していくのであれば、一体的に議論ができるよう商工業振興対策審議会と労働審議会も統合する方向で検討するべき

議事（3）について

- ・ 国や市町、関係団体との連携をしっかりと図り、施策の確実な推進に繋いでもらいたい
- ・ 県がこれから取り組んでいく支援事業について、広く情報発信し、その価値観の共有を図っていくことが必要
- ・ DXやGXに向けた技術的な教育も重要だが、会社に導入するためには経営者の意識改革が必要である